



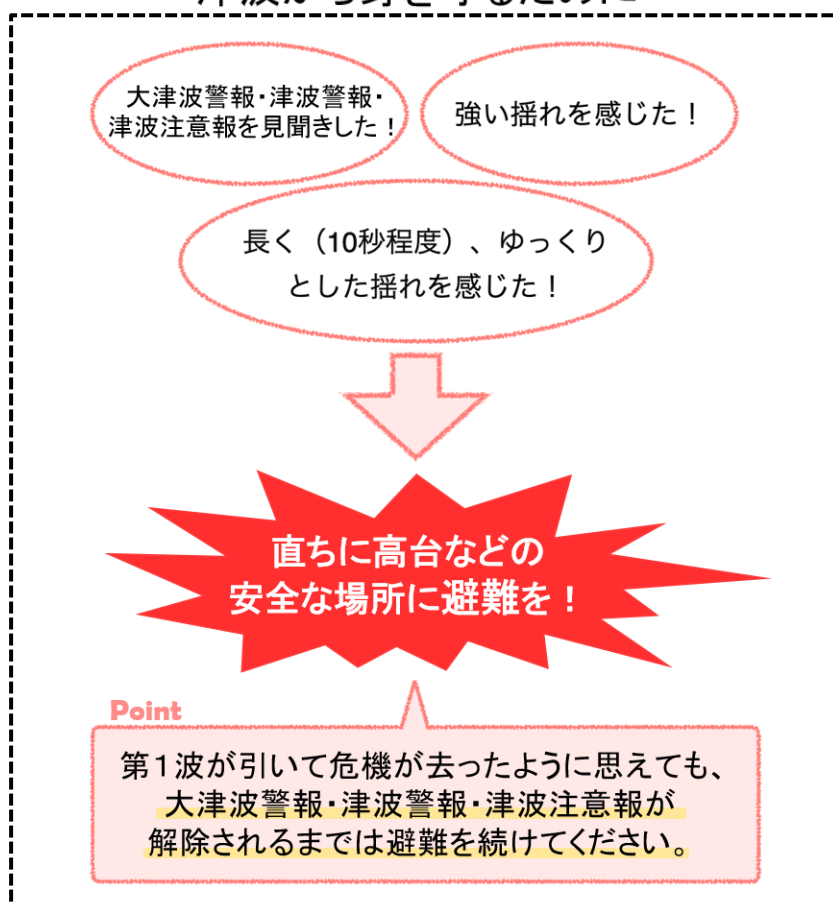
津波から身を守る

平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震では、東日本の太平洋側を中心に全国の沿岸で、2024 年1月1日の石川県能登地方の地震では、日本海沿岸を中心に北海道から九州地方で津波を観測しました。最近では、1月 13 日の日向灘の地震でも愛媛県、高知県、宮崎県、鹿児島県で津波を観測しました。また、政府の中央防災会議が実施した、南海トラフ巨大地震(※1)が発生した際の被害想定では、大阪府でも高いところで5mの津波が襲来すると想定されています。

※1 科学的に想定される最大クラスの南海トラフ地震

そこで、津波から身を守るために知っておいていただきたいことを、今回の一口メモでご紹介します。

津波から身を守るために



津波は、海の表面だけが動く普段の海の波(風浪)とは違い、海底から海面までの全部の水が一体となって押し寄せ、数分から数十分周期で押し引きを繰り返します(※2)。

※2 津波は「引き」から始まるとは限りません。

また、津波の速度は沿岸付近でも自動車並みに速いため、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。大津波警報や津波警報、津波注意報（以下、津波警報等）を見聞きしたり、強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、直ちに海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう。

さらに、津波が繰り返し押し寄せる際に、波の反射などの影響で、第1波よりも後の波のほうが高くなる場合があります。また、波が元の状態に戻るまで数日かかる場合があります。そのため、第1波が引いて危機が去ったように思えても、津波警報等が解除されるまでは避難を続けてください。

(参考) 気象庁ホームページ「津波から身を守るために」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html